

<タイプ1>

・イチロー選手と松井選手の対談が面白かった。岡本太郎の他人の意見や見方などを気にせず自分の考えを貫く心構えが良いと思った。
 ・起承転結の方が、良い人生を謳歌しているように感じる。やる気が出てくる、楽しみがたくさんあると感じる。イチローと松井の対談を聞いて、自己中心的だと思った。悪い意味ではなく、全てを自分の為に行っている。
 ・スポーツ選手の名言を教えてもらって良かった。文化人より少し身近な存在な気がして、言葉がすんなりと自分の中に入って来た。武将の言葉も良かった。ライバルといった存在も面白かった。
 ・自分もライバルを見つけたいと思った。イチローと松井の動画を観て、両者をもっとよく知りたいと思った。
 ・スポーツ選手や武士の名言は為になるものが多かった。

<タイプ2>

・岡本太郎の、自分の中心ってことは宇宙の中心であるという言葉がいいなと思った。
 ・偉大な事をした人間には自分と同じレベルで張り合っているライバルがいると思った。松井とイチロー。

<タイプ3>

・岡本太郎さんの言葉にはインパクトがあった。衝撃もあった。しかし、自分には合わないだろうなと感じた。イチローと松井、正反対に見えるが、成功への道を模索し続けていることは共通である。
 ・「壁は自分自身だ」岡本太郎の名言はすごくたくさんあった。
 ・岡本太郎の生き方に感銘をうけた。妥協を許さない。自分がしたいことをし、貫き通して成功することは難しい。だからこそ、岡本太郎は凄い人だと感じた。
 ・多数の有名人が出てきたが、中でも岡本太郎の考えが素晴らしいと思った。
 ・イチローの言葉で、人間はバランスを崩すのが怖いからストレスは吐き出さなければならない。

<タイプ4>

・秀吉の言葉が一番良かった。
 ・サッカーの本田選手の言葉に心を救われました。常に自分を信じ努力し続けているのでカッコいいと思う。

<タイプ5>

・岡本太郎の「人間は孤独で充実」を聞き、周りに合わせているだけでは成長できないのだと思った。岡本太郎の調和を嫌う性格がよく出ていると思う。
 ・松井とイチローの人格は全く違う。自分で道を拓くことは大事だなと感じた。
 ・ライバルは必要だと思った。
 ・岡本太郎の「迷ったら失敗する可能性が高い方、自分がダメになる方を選び。」が心に残った。
 ・岡本太郎やイチローの主張から、自分の芯を貫くことが重要であると感じた。
 ・岡本太郎の言葉が印象に残った。「立ちふさがる生涯さえも自分の生きがいにしてしまう」という言葉は心に響くものがあった。イチローと松井の自然な二人の会話が面白かった。

<タイプ6>

・ピカソや岡本太郎のような芸術家や音楽家などの名言や生き様をもっと取り上げてほしい。
 ・誰かしらライバルはいるものだった。岡本太郎がライバルはピカソで超えたと言っていて、何だこの人はと驚いた。
 ・岡本太郎という人物はとても偉大な人だと分かった。「芸術は爆発だ」はよく聞く。岡本太郎記念館に行ってみよう。
 ・イチローの言葉は小さいことを積み重ねるのが、運命を切り開く道となる。努力していけば、自分がしたいことをすることができると思った。
 ・イチローが目標にしていた「許す」は、私も友達に対してやっている。
 ・一流の人間は考えることも一流であると感じた。
 ・岡本太郎の言葉は私を震えたさせてくれるものばかりであった。「いつも危険だと思う方に自分を懸ける。それが生き甲斐だ。」という言葉はリスクを乗り越えた先にしか手に入れたいものはない。ことを語っている。
 ・岡本太郎の言葉は少し分かる気がする。イチローのストイックさに驚いた。
 ・長所を見つけられる人間は出来ている人だけだろう。自分は出来ていない。ライバルがいてこそお互いが高みに昇れる。自分を好きになるためにライバルは必要だろう。

<タイプ7>

・「死ぬ気でやって死んだ人はいない」「『勝ち負けは重要ではない』と言った人は皆負けている。」→「勝ち負けにこだわらな人生を今日から歩みます。岡本太郎さんの言葉に自分に自信がきました。「やろうとしないからやれないんだ。ぼくだったらこうするというだけだ。それに共感する人、反発する人、それは自由だ。」言葉は人の人生を変えることができ、自信を持つことができ、素敵だと思った。
 ・岩田武夫の「平凡を重ねよ。いつかは非凡になる」という言葉が自分の飽きっぽい性格に対するものとして、咎めていこうと思った。また、イチローと松井の対比が印象的だった。
 ・岡本太郎の太陽の塔を見に行ってみようと思った。
 ・松井にそんなことがあったのかと驚く部分が多かった。興味があるので調べてみようと思った。
 ・これからは、少し意識もしつつ自分たちをよきライバルとして高め合っていきたいと思った。
 ・こんな強烈な人間だからこそ、岡本太郎はたくさんの人に影響を与えているのだと思った。
 ・イチローの、小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただ一つの道だと思っています。

<タイプ8>

・岡本太郎を初めて知り、とても面白い人だと思った。
 ・名言は口から出せば名言じゃない。
 ・岡本太郎の記念館に行ってみよう。
 ・岡本太郎が芸術家だとは知っていたが、こんなにも面白い人間だとは思わなかった。
 ・全然違うジャンルの人が同じような事を教訓にしていたり、同じジャンルの人が違う事を言っているのでも面白い。松井もイチローも野球をやっているながら、違う考えをもった成功者で、十人十色だと思った。
 ・偉人や何か結果を残している人の言葉は説得力があり、自分の中での価値観や世界観が変わる。
 ・三島由紀夫がいろいろと貢献していると思った。スポーツ選手の、「成功の反対は失敗ではなく挑戦しないこと」の言葉は心にきました。
 ・現在ではイチローも丸くなったのだと感じ、ずっと精神集中して感覚をとぎすませてないとやっていられなかったんだと、ビデオを観て感じた。

<タイプ9>

- ・岡本太郎さんの名言の数々は心に残るものがありました。自分の姿をありのまま直視する、強さになる。この言葉が好きになりました。芸術というものに対する気持ちが少し変わりました。あまり興味がなかったのですが、興味を持ち始めてきました。
- ・自称ピカソを超えている岡本太郎の書いた絵を見てみたいと思いました。
- ・岡本太郎のような普通の考えを持たない人が成功するんだと思った。
- ・戦国武将の言葉が知れて良かった。先生の本を読んでみたいと思った。茂木健一郎の「これからは独学の時代」という言葉が印象に残った。これからどう時代が変わっていくか楽しみである。
- ・人と比べられるのが嫌だからライバルはいらないと考えている。一緒に何かしらの物事に対して高め合っていくことは大切だと思う。それを友と呼ばずライバルと認識すると、それこそ自分のバランスが崩れると感じる。
- ・イチローと松井は、正反対なのに2人とも成功しているのがすごいと思う。ライバルがいると考え方、行動が違うので負けず嫌いだと思うが、2人が高まり合っているのだと思う。
- ・岡本太郎は「変なおじさん」と言われていたが、本物の天才は周りから見ると少し変な人だと思われるのかなと感じた。
- ・三島由紀夫の生き様は格好良いと思う。が、もっと他のやり方があったのではないかなと感じる。
- ・その道を極めるには、やはりライバルという存在は大事だと感じた。
- ・イチローと松井が互いに意識していることが分かる対談だった。ライバルの存在が互いに伸びる秘訣だと分かった。

<タイプ?>

- ・イチローと松井の性格が真逆の2人が話しているビデオを観て、同じ道で活躍していても性格が同じということがないのを見て、興味を持った。
- ・岡本太郎の素敵な言葉はともて感心した。
- ・成功者の言うことはとても素晴らしく思った。
- ・イチローの「許す」というテーマに関心を持った。
- ・共に闘うライバルがあってこそ自分への力になっていくものだ様々な著名人の話を見て思った。
- ・僕もイチローみたいになりたいです。
- ・イチローにはイチローの、松井には松井の考え方で野球に取り組んでいる。今後は自分の考え方を見つけていきたいと思っています。
- ・成功の反対は失敗ではなくやらないこと。この言葉を知って失敗を恐れないで、色々なことに挑戦していこうと思いました。
- ・自分の思い、考えを岡本太郎の言葉を照らしてみたいと思った。
- ・岡本太郎さんの話はすごく身に染みだ。小学校の1年生を2回行った、という話を聞いてビックリした。
- ・西郷隆盛の人を相手にせず天を相手とせよ。という言葉は自分にはよく分かりませんが、社会人になったら、もしかしたら、分かる日が来るかもしれません。
- ・岡本太郎の言葉で「迷ったら失敗する可能性が高い方、自分がダメになる方を選び。そうすることでエネルギーが湧いてくる」すごくいい言葉だと思った。
- ・岡本太郎は、エネルギーがあり、周りからの人望も厚い人だと感じた。
- ・岡本太郎の価値観がすごい。自生の選択や、行動がとてもすごいと思った。
- ・自分がこの感想に書いた武将の名言を調べていただきありがとうございます。これから毎週最初の2分くらいは武将の名言集があると嬉しいです。僕はイチローさんの方が好きです。
- ・渋谷に良く行くのですが、岡本太郎の絵を見ると、今日のビデオで見た、岡本太郎の性格があんな絵に現れているような気がします。
- ・渡部恒雄、アメリカの求心力が弱まり、不安定だ。岡本太郎「迷ったら失敗しやすく、ダメになる方を選び」元気が出るから。楽な道ばかり選んでいたのが耳が痛い。
- ・岡本太郎の壁は自分自身だ。危険だと思う道は必ず自分の進みたい道である。という言葉に凄く興味が湧いた。いつも楽な方にずっと逃げてきた自分なので後悔をしてきた。次に岐路に立った時、参考にしてみたいと思った。
- ・偉人の名言で響いた言葉が無かった。現実性のある名言を出してほしい。
- ・岡本太郎がひねくれ者だということが分かった。
- ・ライバルがいる事によってお互いが成長できると思うしやる気にさせる。特にスポーツ選手に良くあると思う。松井選手の言葉がいいと思った。
- ・三島由紀夫が、こんなに英語を話せるなんてすごいと思った。イチローの「許す」というテーマの話を聞いてとても自分自身の為になった。
- ・松井とイチローのように正反対の関係でも成功するという事は、自分なりの方向性を持つことが大事だと思った。
- ・イチローと松井のように、ライバルの存在は大きいのだと改めて知った。
- ・イチローと松井のように大物同士が対談すると、会話のレベルも高いし、何より物事に動じずに落ち着いた対応ができていいるのも、自信があるからだろうと感じた。
- ・岡本太郎は、物事において、行動するのにかしないのかを言っているのではないかと考えた。自分自身を持っていると感じた。松井秀喜は、心が変われば行動が変わる。において、いつも考えている事を逆にする事によって性格すらも変わりそうな気がした。
- ・岡本太郎さんの芸術に対する思いがすごかった。戦争中も上官の絵を描いていたと聞き、感動した。
- ・岡本太郎の志や発言に感銘を受けた。日本人があまり持ちあわせていないハングリー精神を岡本太郎は持っている。